

★第四十四回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要が営まれる

九月十八日、第四十四回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要が営まれ、高岡教区からは、五位組参加者十二名を含む二十一名が団体参拝した。昨年の法要は敷地の半面のみで使用で四百名程度の参拝であったが、今年度は二〇一九年以來の全面での使用となり全国から一二〇〇名の参拝があった。

厳かな雰囲気の中、宗門関係学校生徒の最優秀作文の朗読と表彰、各教区代表による献華があり、浄土真宗本願寺派総合研究所の寺本知正副所長の法話と進んだ。追悼法要では平和の鐘の音に合わせて僧侶の庭儀があり、読経中にご門主様をはじめ宗門関係者や国会議員等の来賓が焼香され、法要後には全参拝者が焼香した。今も世界各地で様々な争いが起きているが、早く終息して戦争のない世界になってほしいとの思いはこの法要に参拝された方々をはじめ、今回参加できなかった僧侶やご門徒の方々も同じである。千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要は、「人類が繰り返してきた戦争によって、尊いものを失われた世界中の全ての戦争犠牲者を追悼し、平和への誓いを新たにすること」の願いのもと営まれている。



近年は、コロナ禍や全面使用禁止等の様々な事情で形を変えて法要を執り行っていたが、今回従来通りの規模で行なったことにより、次年度以降も各教区から多くの参拝が予想される。高岡教区としても多くの方に参拝していただきたく、以前のようなブロックでの団体参拝が再開できないかと検討している。

★第二十四回ダーナ・バザー報告

去る九月七日、高岡教務所にて高岡教区寺族青年会主催第二十四回ダーナ・バザーが開催された。「支え合う」をテーマとした今回のバザーは高岡教区内寺院のみならず、ご門徒の方々にも物品提供を募り、多くの方々の協力のもと開催された。例年より開場時間を早めてのバザーであったが、開会式前には十名以上のお客さんが列を作り待機していた。開場時間になると礼拝堂はすぐさま熱気に包まれ、たくさんのお客さんで賑わった。

また、子ども若者ご縁づくり推進事業として子ども若者い



縁づくり委員や高岡龍谷高校の生徒主催のもと、謎解きスペースや縁日スペース等も設けた。近所の小学生や親子連れが笑顔の中ゲームに参加しており、盛況だった。収益金は寺族青年会と交流のある県内の各福祉作業所・JVC（国際ボランティアセンター）・能登半島地震の被災地等への支援金として使用される。



◇高岡教区災害対策委員会からの報告について

本年一月一日に発生した能登半島地震に対する高岡教区災害対策委員会の対応についてご報告いたします。

まず、教区内への支援金・義援金の募集については、教区内寺院・御門徒さまが被災した状況にあり、積極的な募集の呼びかけはせず、支援金・義援金の受け入れ態勢を整えることのみといたしました。十月一日現在、八十五件、二百九十七万四千八百七十二円（振込手数料を除く）の支援金・義援金を頂戴したことであります。また、各教区、個人さまから頂戴した見舞金は、十四件、百八十六万円で、見舞金及び支援金・義援金を合わせて総額四百八十三万四千八百七十二円（振込手数料を除く）を頂戴いたしました。皆さまからの温かいご支援・お見舞い、誠にありがとうございます。

頂戴した見舞金及び支援金・義援金は、まず被災に遭われた方への見舞金として、組長より報告のあった被害が甚大な寺院七ヶ寺（応急危険度判定が危険・要注意）及びご門徒さま八十四軒（全壊・大規模半壊）に対し、総額三百二十二万円の見舞金を交付いたしました。

また、高岡教区各種団体によるボランティア活動に対して援助（金額については相談し決定）することとなり、申請のありました団体に二万五千五百円の助成金を支出、そして地震発生当初の高岡教区内救援活動（水の配付）に五万八千三百七十八円を使用

したことであります。

当初、高岡教区のほぼ全体が被災地域のため状況の把握に注力しておりましたが、九月開催の災害対策委員会にて、石川県被災地域での活動を見据え、ボランティア活動の実行部隊でもある災害救援活動専門委員会の設置を決定しました。実働部隊では能登半島地震と九月二十一日に発生した能登豪雨被害への救援活動を計画しております。また被災地が重複しておりますため、頂戴した能登半島地震見舞金、支援金・義援金の残金、百五十三万九百九十四円を活用し、被災地の状況を把握しながら必要な救援活動を進めていく予定です。今後も皆さまのご協力よろしくお願い申し上げます。

◇「秋の叙勲・褒章」宗門褒章授与推薦について

「秋の叙勲・褒章」（令和六年十一月三日付授与予定）受章者には宗派より褒章を授与いたします。

なお、例年通り『宗報』十月号に、『秋の叙勲・褒章』受章者報告についての案内が掲載されますので、各寺院に所属される僧侶、寺族、ご門徒の方で、受章された方がおられましたら、教務所までお電話等にてご報告をお願いいたします。

【教務所への報告期限十一月十三日（水）】

☆お知らせ☆

高岡教務所では今年度もカレンダーの注文を受け承ります。

お電話で注文頂ければご寺院宛に配達を致します。

※担当の北鹿渡までご連絡ください。

法語カレンダー・・・150円

ほのぼのカレンダー・・・150円

月々のことば・・・1000円

心に響くことば・・・140円

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

二〇二四年度 高岡教区僧侶研修会に参加して

今年度の「御同朋の社会をめざす運動」人権啓発推進僧侶研修会(以下、僧侶研修会)は、『真宗王国』差別問題で何が問われたのか」のテーマのもと、同和教育振興会派遣講師で、長野教区の中島清志さんを講師に迎え、九月十三日・二十七日・二十八日に開催されました。ともに開会式の後に書籍『真宗王国』の問題箇所とされる座談会の内容を新たに同朋企画専門委員六名で録音したロールプレイングを放送した後、問題提起から班別協議会の後、全体会・班別報告・講師のご助言の流れで研修は進みました。

私は、二回の参加でした。その中で、九月十三日は問題提起を担当しました。この日は今年度の一回目という事もあり、参加者も多く約六十名の参加でした。問題提起では、私が問題だと思われる座談会の中の発言を取り上げて、疑問を研修参加者に投げかける方法をとりました。これはここでの差別発言が、いかに問題であるかを参加者それぞれが自分で考え、どうすればいいのかを考えていただくねらいから、あえて明確な問題点などは挙げませんでした。しかし、終了後の僧研スタッフの反省会でこの時の班別協議では、「座談会の発言は問題である」「この座談会の発言のここ部分には違和感がある」という意見が多く出されていたものの、その発言のどこがどう問題なのか、というところまで話が深まらず、自身の差別心の気付きや、差別解消のためにはどのような自分には行動すべきか?といった、研修の本来の目的について議論を交わせる機会が少なかったという指摘がありました。そこは次回への反省点したいと思います。

九月二十八日の研修会は、私は問題提起を同委員の福田さんと交代し、班別協議会の司会として参加しました。問題提起は、事

前に私が行った時の反省点を福田さんに伝えていたので、しっかりと問題の要点がまとめられており、班別協議会も参加者それぞれが自分の問題と捉えて、幅広い協議ができました。

私が参加した二回を通して、講師の中島さんの助言で特に印象に残ったのが、「なぜ今も部落差別がなくならないのか」というところで、①意図的に差別する人の存在②意図的ではないかもしれないが、結果として部落差別解消を妨害し、時には温存助長的に加担することになっている人の存在③「自分は無関係だ」と勝手に思い込み、差別放置の一端を担う人。これらの存在があるから部落差別がなくならないというものです。まさに、書籍『真宗王国』の座談会で発言していた方々が②③に当てはまると思った一方で我々、僧侶もここに当てはまる可能性は十分にあると思います。私たちは真宗のみ教えに生きているので、意図的に差別する僧侶はいない、と認識されている方は多いと思います。しかし、部落差別に対する確かな知識や解消に向けた今回の研修のような取り組みがなければ、そして、自分の周囲にある差別や自身の中の差別心を見つめようとしなければ、私たちは簡単に②③のように差別を傍観あるいは「仕方ないこと」として是認し、無自覚のままに差別に加担してしまうおそれがあります。

書籍『真宗王国』発刊から今年で五十年となります。私自身、発刊された当時と問題が発覚した時には、まだ生まれていません。しかしそれにも関わらず、現代に生きる私たちの世界でも座談会と同じような発言はありますし、部落差別問題の本質は五十年前とさほど変わりません。だからこそ私たち僧侶と門信徒が一丸となつて、これからも部落差別をはじめとする社会の差別問題解消のための取り組みが必要なのです。

【同朋企画専門委員 耳浦 康真】

◇これからの日程（10/14～11/30）◇

10月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座	
16	常備会	
17		龍谷理事会
18		教化団体協議会
21	聖典セミナー	連区仏壮協議会（～19） 第2連区ビハトラ研修会 九条の会全国集会 コラス（午前）
22		
25	会計監査	
29	教学研修室	
11月		
1		ビハトラサロン
5		コラス（午後）
14	常例法座	
19		コラス（午前）
21	聖典セミナー	
25	親鸞聖人を語る夕べ	
26	会館報恩講	
27		北陸ブロック組長会打合
28	教務所午後から休業 ※職員研修会のため	
29		仏婦教材委員会

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・73.8kHz.

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

●11月10日（日）

富山教区布教使（未定）

（富山教区）

●11月24日（日）

富山教区布教使（未定）

（富山教区）

※高岡教区及び富山教区が主催し、北日本放送（KNB）にて毎週日曜日午前6時から放送しております。『西本願寺の時間』は、放送を継続しております。

また、西本願寺では、動画配信サイトを設置し、法話等を配信しております。ご視聴ください。

<https://broadcast.hongwanji.or.jp/>



☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAXでのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋）10,000円

・1組（10袋）600円

お申込み先は…高岡市東上関446高岡教務所内

（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)

メール hourin18@gmail.com

※2025年2月より申込代表電話番号を変更いたします。

【西本願寺高岡会館11月の常例法座】

ご講師： 奥村 眞照 師

（砺波組照傳寺）

ご講題：『還相回向』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。